

MBC ラジオ『ココが聞きたい！ドクタートーク』2024.12.21
第 1129 回放送分『泌尿器科疾患』3 回目
ゲスト：榎田英樹ドクター

二見いすず

今月のドクタートークは、「泌尿器科疾患」をテーマにお送りしています。
お話は、鹿児島大学病院 泌尿器科の 榎田英樹（えのきだ ひでき）ドクターです。
榎田さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

榎田英樹Dr.

よろしくお願ひいたします。

二見いすず

先週は、前立腺がんについてお話しいただきました。
男性のがん罹患数で 1 番多いのが前立腺がんなので、
50 歳を過ぎたら PSA 検査をして早期発見、早期治療につなげることが
大切ということでした。今週は何についてお話しただけですか。

榎田英樹Dr.

今週は女性に多い過活動膀胱についてお伝えします。
二見さんは、過活動膀胱の定義をご存知ですか？

二見いすず

他の人に比べて、トイレが近い・・・などでしょうか？

榎田英樹Dr.

頻尿もあるのですが、過活動膀胱の定義は、尿意切迫感を必須症状とします。
尿意切迫感というのは、「おしっこをしたいと思ってからトイレまで間に合わないような感じがする」こと
を指します。

二見いすず

つまり、「トイレに行きたい」という気持ちを我慢しているときに感じる、
あの尿意とはまた違うんですね。

榎田英樹Dr.

そうですね。突然起こる我慢のできないような強い尿意を特徴とします。
過活動膀胱は 40 歳以上の女性に多く、
およそ 1000 万人が当てはまると言われていますが、
実際に病院を受診している人はそのうちの 1、2 割ほどです。

二見いすず

尿意切迫で、突然我慢できないほどトイレに行きたいと思っている人はその症状がひどくなったらどうなるのでしょうか？

榎田英樹Dr.

切迫性尿失禁、つまりトイレまで間に合わずに漏れてしまいます。

二見いすず

そうなんです。尿意切迫から切迫性尿失禁になるまでは、なにも治療しないでおくと、どのくらいの期間でなるのでしょうか？

榎田英樹Dr.

正確なデータはありませんが、2、3年で悪化することもあります。先ほどもお伝えしたとおり、病院を受診している方が少ないです。女性では恥ずかしいと感じたり、年齢のせいかもと諦めている方もいらっしゃいます。しかし、悩んでいたらぜひ相談されることをおすすめします。

二見いすず

病院ではどのような治療を行うのでしょうか？

榎田英樹Dr.

薬物治療が主ですが、電気で刺激を与えて漏れにくくする治療もあります。他に膀胱訓練や骨盤底筋体操なども有効です。また日頃の生活でも気を付けてほしいことがあります。冷たいもの、たとえば皿洗いや歯磨きなど、そういう冷たい刺激がきっかけになることもあります。またコーヒーや柑橘類も尿意を感じやすくするので、気になる方は少し控えるようにしましょう。

二見いすず

分かりました。

榎田英樹Dr.

過活動膀胱は、トイレの不安から、外出を控えるようになっていたりしてQOL、生活の質が下がってしまいます。命にかかわる病気ではないもの、一人で悩まずに泌尿器科医にご相談ください。

二見いすず

今月は、「泌尿器科疾患」をテーマにお送りしています。お話は、鹿児島大学病院 泌尿器科の 榎田英樹ドクターでした。榎田さん、ありがとうございました。

榎田英樹Dr.

ありがとうございました。